

情報連絡員報告を中心とした

# 県内の中小企業動向

平成26年3月期

情報連絡員50名 回答数50名

## 全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。  
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

### 前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は8から9に増加。「減少した」業種は4から2に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は7から14に増加。「減少した」業種は13から5に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は6から5に減少。「悪化した」業種は9から3に減少。

### 前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は12から9に減少。「減少した」業種は1のまま変化なし。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は8から13に増加。「減少した」業種は12から5に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は7のまま変化なし。「悪化した」業種は10から5に減少。

## 製造業

### しようゆ製造

【県内全域】

駆け込み需要が当業界にも及び出荷が盛況である。輸入小麦、4月から2.3%引き上げ(農水省)。

### 豆腐製造

【県内全域】

昨年の秋の台風の影響により千葉県含め、大粒大豆の収穫が20%減。大粒大豆から買われていくため、今後ますます価格が高騰すると思われる。

### 乳製品

【県内全域】

各社とも、消費税8%に向け調整中。インフルエンザ対策としてヨーグルト類の販売拡大に努める。

### 製材

【県内全域】

原材料価格上昇。

### 製材

【木更津】

3月は南用材船の入港なし。米材船とロシア材船は各1隻入港。米材とロシア材は在庫減少。南用材は在庫増。25年度の入荷は終了。

### 印刷

【県内全域】

3月の受注売上は、2月と比較して増加した模様。例年3月は年度末需要に対応する為に操業度も上昇するが、今年度は消費税率の上昇を見込んだ新年度分の駆け込み需要が上乘せされ、各社共大変活発に稼働している

ようだ。一部の企業からは「すべての受注を3月末迄に納品してしまう」と新年度に入ってから「たく仕事が無くなるのでは」との心配の声すら聞こえる。

### 電気鍍金

【県内全域】

3月12日、大手企業の賃上げが一斉に発表されたが、自動車産業等々の賃上げが6年ぶりに軒並み上昇されたが、中小企業では、4月から消費税率の上昇、資材等の値上がり等でどこまで賃上げ等ができるかと懸念される。未だ景気の回復とは言えないのが実情。

### 鉄工

【千葉】

景気回復に満足している企業は未だ少数ながら、行政の手厚いバックアップを背景に(国)ものづくり補助金、千葉市(企業誘致関連補助制度等々)大企業のベア決定に及ぶべきもないが、これまで抑制してきた設備投資に動き出した組合員が直近で5~6社もみられ、そのことは力強く感じている。

### 機械部品製造

【野田】

消費税アップによるものと思われる需要があり、今後の転嫁等スムーズな移行を期待する。業界動向は引き続き好調傾向が続くが、維持するよう期待したい。

【機械部品製造】

【流山】消費税増税の影響もあり、受注は前月と同じようである。

【機械部品製造】

【柏】消費税により増注はあるものの、4月以降落ち込みと先行き不透明感あり。

【金属製品製造】

【船橋】景気の回復までの実感はない。あと一息のところまで停滞。組合員の数は専門家を交え、事業継続計画に取り組み、推進している。

非製造業

【総合卸売】

【千葉県・東京都】【事務機・オフィス家具卸】消費増税前の需要集中し、仕入れが間に合わない状況にある。但し、4月以降の商談激減しており、第1四半期（4～6月）の不安増大。【米穀卸】消費増税による量的な売上増があるが、価格は前年同期比下落している。

【建築材料卸売】

【県内全域】天候は回復しても、需要は視界不良。消費税駆け込み需要の反動が懸念される。

セメントメーカーは、オリンピック以降は需要減必至なため、今のうちに値上げを実施し収益改善を目論むが、当面の新年度の需要減速に腰が引けている。主需要家の

生コンは新規物件では値上げしたものの、骨材高騰等で当面は利益には結びつかない模様。

【自動車解体】

【県内全域】スクラップ価格が下落し、昨年同期を下回り収益性悪化。

【乾物卸売】

【県内全域】現在までの生産量は13%、平均単価は9%と前年に比べ減少。海況の悪さが影響し、質的・量的にも前年を下回り、市況も好転せず。

【卸売】

【茂原】消費税アップのため駆け込み買ひもあるようだ。

【電気機器小売】

【県内全域】消費税効果はあるが、量販店に流れ、おこぼれはあるが、品切れが目立ち商売は難しい。

【小売】

【東金】ファッション関連品は、先月の悪かった分、若干上向いてきた。後半から消費税対策での動きが若干見られた。食品関係は、値上がり傾向が続いている。中旬の強風での影響も少しあった。

【小売】

【野田】消費税増税前の駆け込み需要の影響で高額商品を中心に、売上が好調に推移したが、反面、4月からの冷え込みが不安材料である。

【小売・サービス】

【柏】好転したという事業者は、全くと言っていい位ない。冷え切っている。中旬まで本来なら三寒四温となる所、四寒三温という感じで春物の出が不調。衝動買いのお客が極端に減っている。増税を見込んで本当に必要としている品か高額耐久消費財品に消費が向かっているのではないかと思われる。

【自動車一般整備】

【県内全域】年度末、増税を前に、売上・収益に若干の増が見込める。

【自動車一般整備】

【柏】消費税の関係で駆け込みで入庫台数の増加が見込まれる。

【建設揚重】

【県内全域】供給不足の状況で3月（期末）まで継続と予想していたが、4月以降も継続しそう。

【旅館業】

【鴨川】3月は好景気。増税後の4月以降が怖い。

【遊覧船】

【鴨川】昨年、本来集客が伸びてきていたのが、最終的には前年をわずかに上回るか同等になる予定。

【一般廃棄物処理】

【千葉】引越時期と消費増税を目前

に、廃棄物の収集依頼が多くあり、好転の結果となった。

【学習塾】

【県内全域】新規入塾者と春期講習の実施が始まり、2月でマイナスとなった分の回復へとつながりつつある。

【土木建築サービス】

【県内全域】春闘の結果などが景気浮揚に繋がるよう期待している。

【建設】

【県内全域】建設業界に於いて、若者の減少が続いている。現在の現場の中心は、65歳以上となっている。2月より発注者の積算単価の見直しが進んでおり、不調が減少した。

【電気工事業】

【県内全域】毎月不変で、前月比・前年同月比を報告しているが、各社本当にまちまち。自社で潤っていても、口では厳しいとの声が大半。後継者問題や従業員の高齢化等で現状維持している模様。

【貨物運送】

【野田】ドライバー不足は引き続き深刻な問題である。消費税アップ。P CのウインドウズXP問題に対応している。

【輸出入】

【県内全域】3月は前月比で上昇、前年同月比は約7%ほど上昇。